

生きた教科書「でんぐりがえしプロジェクト」
～逆転の手法で社会を変えた人々に学ぶ～
(公開講義#8 & 現場に学ぶ医療福祉倫理)



国際医療福祉大学大学院教授
元朝日新聞論説委員・元大阪大学大学院教授
福祉と医療・現場と政策をつなぐ「えにし」ネット
志の縁結び係&小間使い

ゆき さん

現場に学ぶ医療福祉倫理って？

- 机上の倫理ではなく、実践の倫理
- 社会の中の生きた倫理
- 日常の中の非倫理(理不尽)に気付くこと
- 変えるために 戦略を考えること
- 実践してみること
- 壁につきあたって、また、考え、実践すること
- 想像力
- 度胸
- その生きたお手本が毎回登場していただきます

★★この講座の名物・その1・礼状風レポート★★

☆「義務」ではありません。

「権利」です(*^ー^*)

ゲストの先生からお返事が届き、交流が始まることも(^_-)-☆

毎回、書いた方は、シリーズがおわったときには、
文章力が思いがけないほどupしています。
文章力を磨くためにも、
毎週のレポートはおすすめです。
ご希望でしたら「添削」もいたします。

「ゲストに厳しいことを書いたので転送しないで」
「内輪の話を書いたので当選してもHPにアップしないで」
という方は、そう、書き添えくださいね。

むずかしいことをやさしく

やさしいことをふかく

ふかいことをゆかいに

ゆかいなことをまじめに

(井上ひさしさんの言葉です)

なぜ毎週レポートを？

書かなければ、何もわからぬから、書くのである

(文章の達人、小林秀雄『文学と自分』)

話したり読んだり聞いたりするのと違って

- ①情報を正確に記憶し、伝えられる
- ②考えることを促す、思索を深める効用がある
- ③理解度を点検できる

考えて書くのではなく、書いて考える

コツは、まず書いて、あとで直す(^-)-☆

締め切りはその週の土曜の24時(日曜滑り込みもOKですけど)

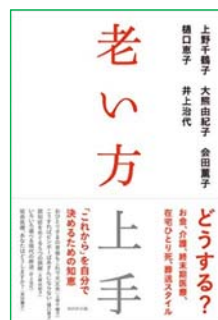
ゲスト講師へのお礼状のつもりで。。。

表題に「レポート」という文字とお名前・仕事・キャンパス

yuki@spa.nifty.comへ

★★名物・その2★★

「当選作」には、私が関係した以下の本の中から
お好みのものをプレゼントさせていただきます(*^-^*)



★★この講座の名物・その3★★

事前に資料をお送りします(*^_^*)

☆ゲスト講師にまつわるエピソードや、
カラーの配布資料を毎回、事前にメールで送ります。
すでに単位をとってしまっていて履修登録「できない」
「モグリ」の方にもお送りします(^_-)-☆

☆添付可能なメルアドを
yuki@spa.nifty.comまで、お知らせください。
外部聴講の方のメルアドは、
乃木坂事務局が一覧表をくださるのですが、
院生さんは、学生番号から類推しています。
いつも見るメルアド自己申告してくださいね(^_-)-☆

★★この講座の名物・その4★★

放課後も“宝の山”…居酒屋 笑笑 (ワラワラ) で (2000円くらい)



ゲストから「ここだけの話」が
飛び出します(^_-)-☆

丸木教授、埴岡教授、中村教授
重鎮の国会議員の顔も。。。



★★この講座の名物・その5★★

ゲストにまつわる情報、講義のパワポ、当選作を公開講義の部屋にアップしてゆきます
<http://www.yuki-enishi.com/> などとややこしく入力しなくても、
 「ゆきえにし」で検索してくださると、先頭に出できます o(^o) (^o) (^o)

えにしのページ へようこそo(^o) (^o) (^o)

「えにし」の名の由来は、2001年5月、プレスセンターで開いていただいた
「新たな縁(えにし)を結ぶ会」に遡ります。



一人のジャーナリストと縁があるという、
 ただ、それだけの縁で集ってくださった分野の違う方々の間に、
 不思議な、新たな縁が結ばれ、広がっていきました。

このホームページが、福祉と医療とまちづくり、
 そして、現場と政策の新たな縁結びにつながることを願って、
 少しずつ内容を充実してまいります。
 時々覗きにきてくださいね(´-`)-☆

ご意見、お便りをお待ちしています。
dzy00573@nifty.comへどうぞ！

大熊由紀子(朝日新聞論説委員室→阪大ソーシャルサービス論
 →国医医療福祉大学大学院・佛教大学社会福祉学部・筑波技術大学など)

来年は17回 福祉と医療・現場と政策の「新たなえにし」を結ぶ会 7つのシキタリ

- a
- その1 席は、**籤引き**。恋が偶然の機会から生まれるように
 - その2 **パソコン文字通訳、手話、磁気ループ、指点字**を用意
 - その3 毎回、**news**が潜んでいます
 - その4 どんなに高名な方でも、**講演料ナシ**。それは、“権利”なのだという理屈から
 - その5 登壇は「権利」なので、「**一生に一度**」だけ。
 - その6 **モットーは前例を破ること**。〇〇先生、〇〇局長という上下っぽい呼びかけをやめ
カラちゃん、サルちゃんと呼び合って、始まる前から水平の関係が
 - その7 **縁の下の力持ち** 資料配布ボラ 袋詰めボラ
 満員御礼判定&「えにし結び名簿」ボラ
 映像配信ボラ プログラムづくりボラ 売り子担当ボラ
 受付・ご案内担当ボラ 幹事長・事務局長ボラetc. etc.

